

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年1月24日

事業所名： 大洲愛育ホーム

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100%				97%	3%			活動によって使用する部屋を考慮している。
	2 職員の適切な配置	75%	25%			84%	8%	8%		契約時に適正な人数であることを説明している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	100%				90%	5%	5%		訓練室等では安全面に考慮し、遊具等の配置や使用するときの配慮などをしている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%			毎日の清掃、除菌等をして環境を整えている。	90%	7%	3%		今後も清掃等を行い清潔な環境作りに努めていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	100%								
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		25%	75%	外部評価は受けていないが、市の施設なので市の指導を受けながら業務を行っている。					
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100%			研修を受けた職員が、研修後他の職員に報告を行っている。					研修を受けた職員から報告を受けたり、愛大の先生による発達相談の時に参加して研修の機会にしている。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での子どもの発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%				95%		5%		定期的に面談し、子どもの様子や保護者の願いを聞き取り、検査結果や日頃の様子などを基に支援会議を開き計画を作成している。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100%				95%		5%		
	3 子ども の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	75%		25%						保護者に集団療育・個別療育の必要性を説明し計画を作成している。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		工夫した点、改善点				保護者の方のご意見				
		はい	どちらともいえない	いいえ		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100%				92%		8%		計画に沿った適切な支援を心掛けている。
5	チーム全体での活動プログラムの立案	50%	50%							
6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100%				82%	5%	13%		個々の成長に応じてプログラムを工夫しているが、繰り返しの中で身に付けていく事もあることを丁寧に説明している。
7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援									平日のみの開所になっています。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100%								
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100%								
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100%								
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100%								
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	100%								
2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									

適切な支援の提供（続き）

関係機関との連携

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		工夫した点、改善点		保護者の方のご意見		保護者の方のご意見		保護者の方のご意見		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100%			95%	5%			個別療育後等、本原の様子を伝えあい共通理解に努めている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100%			95%		5%		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			100%	26%	18%	15%	41%	就学に向けての説明会などで保護者会を願っているが、今後学年単位の保護者会を検討していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100%			56%	5%		39%	・今年度の苦情はない。 ・苦情があった場合には苦情処理マニュアルに従って迅速な対応をします。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100%			75%			5%	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	75%		25%	49%	10%	5%	36%	行事予定を発行している。
	10	個人情報情報の取扱いに対する十分な対応	100%			90%	3%		7%	
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	100%			64%	13%	3%	20%	各マニュアルは掲示しているが、周知徹底していないので、今後掲示場所を増やすなどして周知徹底に努めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100%			36%	13%	8%	43%	在宅児を中心に年数回訓練を実施している。避難経路は入り口に掲示している。

